



募集に関して

2021年 開講スケジュール モジュール1～3修了後、学校教育法に基づいた履修証明書が発行されます。

- 5月15日[土] **開講式&オリエンテーション**
- 5月22日[土]～6月26日[土] **モジュール1** リーダーシップを発揮するーコミュニケーションデザイン実践ー
- 7月10日[土]～9月4日[土] **モジュール2** 創造性を磨くーデザイン思考実践ー
- 9月25日[土]～2月19日[土] **モジュール3** イノベーションを実践するーイノベーション実践PBL (Project Based Learning)ー

*対面授業の一部がオンライン開講となる場合があります。*天候事情等により日程が変更になる場合があります。ご了承ください。

対象

- 企業や団体、行政、NPOなどでリーダーとして働く女性及びリーダーを目指す女性
(管理職に限らず、プロジェクトや新規事業開発のリーダー、多様な人々を巻き込む役割の方など)
 - 起業を目指す女性
 - 職場復帰や再就職を目指す際に高度なスキルを身につけたい女性
 - ファンリテーション、デザイン思考、チームビルディングに関心のある方
- …など、どなたでも受講いただけます。

資格 女性限定 学歴年齢不問 **定員** 20名

受講料 ●1モジュールあたり…60,000円(税込) ●通期受講 180,000円(税込)

文部科学省職業実践力 育成プログラム(BP)認定講座



Brush up Program
for professional

職業実践力育成プログラムとは、プログラムの受講を通じた社会人の職業に必要な能力の向上を図る機会の拡大を目的として、大学等における社会人や企業等のニーズに応じた、実践的・専門的なプログラムを「職業実践力育成プログラム」(BP)として文部科学大臣が認定するものです。

個人 向け 専門実践教育訓練給付制度 厚生労働大臣指定講座

福岡女子大学「イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム」は、2016年10月より、専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座として登録されました。当講座を修了された方のうち、一定の条件を満たす方は、受講料の一定の割合額(最大7割)が「専門実践教育訓練給付金」としてハローワークより支給されます。(詳細は最寄りのハローワークまでお問合せください。)

企業 向け 助成金制度について

事業主等が雇用する労働者に対して職務に関連した専門的な知識及び技能の習得をさせるため、専門実践教育訓練を受講させ又は受講を支援する場合には、訓練経費や訓練期間中の賃金の一部等を助成する制度です。(最大、経費助成45%、賃金助成760円(一人1時間)を支給されます)
*支給に際しては要件があります。各社で都道府県労働局までご確認をお願いします。

公立大学法人 **福岡女子大学 地域連携センター** 女性学び直し事業担当

〒813-8529 福岡市東区香住ヶ丘1丁目1番1号

TEL 092-661-2411(代表) / 092-692-3198(直通) FAX 092-692-3220 (24時間受付)

MAIL manabi@fwu.ac.jp URL <http://www.fwu.ac.jp/manabi/>

[福岡 学び直し Q 検索](#)

2012

社会人学び直しプログラム

イノベーション創出力を持った 女性リーダー 育成プログラム

Fukuoka Women's University Innovators Program

2021年度 講座案内

2021年5月～2022年2月 開講



社会人学び直しプログラム
文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)認定講座
教育訓練給付金指定講座



公立大学法人
福岡女子大学
FUKUOKA WOMEN'S UNIVERSITY



チームで学ぶ、チームを学ぶ。

問題を発見し解決に結びつける力と、協力して作り上げる力をつける120時間



リーダーに必要な力とは何でしょうか？意思決定のスピード、カリスマ性、統率力などリーダーに求められる要件は様々あります。リーダーというと、チームをぐいぐいと引っ張っていく統率型のリーダーを一般的にはイメージしがちですが、果たしてそれだけでいいのでしょうか？チームの中心はメンバーです。そのメンバーを主体とし、メンバーの個性を引き出し、チームとしての成果を最大化することこそが、リーダーの役割であり、力でもあります。『イノベーション創出力を持った女性リーダー育成プログラム』では、様々な演習や実習をチーム単位で取り組むことによって、チームビルディングやリーダーシップの発揮方法を学んでいきます。チームで学ぶ、チームを学ぶ…“自然体・等身大”のリーダーを目指す女性のためのプログラムです。

プログラム概要

モジュール
1

リーダーシップを発揮する
— コミュニケーションデザイン実践 —
対面授業／5日間(計30時間) オンライン学習／10時間

コミュニケーションを通じ
関係者を巻き込み推進していく力を養う



今、多様な価値観や異なる背景を持つ人々との協働が必要になっています。多様性を認めるとはどういうことでしょうか？まずは、違いがあることを認識し受け止める。そのためには対話が欠かせません。チームメンバーの創造性を最大限に発揮するためには「場」とプロセスのデザインが鍵になります。演習を通じ、対話型コミュニケーションやファシリテーションのスキルを学び、クラスメイトとのチームビルディングを体験しながら、自分なりのチームへの関わり方を見つけていきます。

ユニット1 対話型コミュニケーション基礎

本プログラムはワークショップ型の学びで授業が進行します。ワークショップの特徴でもある「参加＝積極的に参加する」「体験＝まずはやってみて振り返る」「相互作用＝他者から学ぶ」を存分に行い、多様な価値観に触れながら、自分とは異なる考えを持つ他者と協働していきます。授業では、対話や演習を繰り返し、「対話とは何か？」「コミュニケーションの場を作る際のポイントは何か？」を学び、座学や講義だけでは得ることができない体験や新しい発想を身につけます。

- Day 1 対話型コミュニケーションの基礎を学ぶ
- Day 2 対話型コミュニケーションをデザインする
- オンライン課題 リフレクションシートの作成

ユニット2 ファシリテーションスキル実践



多様な人の中から、様々な意見を取り入れ、新しいもの、よりよいものを作り上げていくことが職場や地域など、あらゆる場面で求められています。参加者やチームメンバーの意見を引出し、まとめていくファシリテーションのスキルはこれからの社会に必要なスキルのひとつです。授業では、人が集まる場をデザインし、参加者同士の対話を促し、合意形成に導くためのファシリテーションのスキルをグループ演習を中心に学びます。

リーダーシップはリーダーだけが担うものではありません。チームメンバー一人ひとりが自律し、チームへの貢献を各々が意識し互いに支え合う、そんなチームを作り上げるためにもコミュニケーションの場づくりや、ファシリテーションのスキルは欠かせません。ファシリテーションを活かしながらどうチームに貢献していくか？新しいリーダーのカタチを考えていきます。

- Day 3 ファシリテーションの基礎を学ぶ
- Day 4 ファシリテーションを実践から学ぶ
- Day 5 ファシリテーター型リーダーへの道
- オンライン課題 個人演習とチーム内での相互フィードバック

プログラムの特色 女性が学びやすい環境を整え、仕事や家庭・育児との両立をサポートします。

多様な人との学び

演習や実習が中心の対面授業では、チーム単位でのグループワークを通じ、他者の意見を取り入れ、他者からのフィードバックを受けながら相互に学習を深めています。様々な背景、経歴を持つ多様なクラスメイトとの学びに加え、修士生との特別授業の実施など、働く大人の学びを多方面からサポートします。

仕事や家事・育児との
両立をサポート

土曜（一部日曜）開催の対面授業と、レポート作成や相互フィードバック、アイデア共有などオンライン上での学習やインタビュー実習などの実践を組み合わせた講座です。1モジュールずつ複数年（最大3年間）に渡っての履修も可能。受講者それぞれの環境に応じて受講ができます。

子育て中の女性をサポートする環境

大学構内に託児施設を完備。乳幼児保育と小学生対象の学童保育を実施します。子育て中の女性も学びやすい環境の中、安心して通うことができます。（費用は大学側負担）



モジュール
2

創造性を磨く
— デザイン思考実践 —
対面授業／4日間(計24時間)
オンライン学習・実習／16時間

問題を発見し
解決に結びつける力を養う

絶対的な1つの解が存在しない問題を解決するためには、既存の枠組みにとらわれないアプローチが必要です。イノベーション創出のための方法論のひとつでもあるデザイン思考と顧客起点のマーケティング理論を、講義や演習、フィールドリサーチを通じて学びます。

- Day 1 デザイン思考とマーケティングの基礎を学ぶ
- Day 2 デザインリサーチの基礎を学ぶ
- オンライン課題 アイデア創出
- Day 3 新たな課題の創出・設定、アイデア創出のプロセスを学ぶ
- オンライン課題 顧客体験のシナリオマップ作成、プレゼンテーション準備
- Day 4 アイデアの持続的実現モデルの策定とプレゼンテーション



モジュール
3

イノベーションを実践する
— イノベーション実践PBL —
(Project Based Learning)
対面授業／5日間(計27時間)
オンライン学習・実践／13時間

講座で得た知識・スキルをもとに
課題を設定し 解決策を実践する



モジュール1、モジュール2で得た知識やスキルをもとに、自らが直面している問題や課題を解決するためのアイデアを練り上げます。問題の本質は何か？本当にその課題でよいのか？常に問題に向き合い、問い直すことから、真の解決策が生まれます。対面授業では、課題解決のためのフレームワークを学び、共通のテーマで編成されたチーム単位でリサーチ、アイデア出しなど協働しながら取り組みます。



- Day 1 課題解決に向けた情報収集と事前準備
- Day 2 課題解決に向けたテーマ設定
リサーチ計画の策定
- オンライン課題・実践 リサーチ インタビューの実施 レポート作成
- Day 3 問題構造の可視化
- オンライン課題・実践 アイデア創出 プロトタイプ作成 / サービス試行
- Day 4 ビジネスモデルの枠作り
プロトタイプ製作 / サービス試行
プレゼンテーション準備
- オンライン課題・実践
- Day 5 課題解決プランの
プレゼンテーション (成果発表会)